

ユニセフハンド・イン・ハンド募金を開催しました



11月15日(土)秋田駅東西連絡通路(通称ぽぽろーど)で秋田大学生協の大学生8名を含む会員生協の組合員・役職員21名が参加しました。

募金額は**45,086円**でした
ご協力いただいた皆様
ありがとうございました

2025年度の募金テーマである「すべての子どもに生きる希望を!」というスローガンのもと、2か所に分かれて募金活動を行いました。

1979年の国際児童年に始まったこの全国募金活動「ユニセフハンド・イン・ハンド募金」は今年で47回目を迎え、県生協連が取り組むのは今年で17回目となります。当日は秋田駅構内の2か所で「子どもたちの生きる力と未来を守る活動にご協力をお願いします」「世界の子どもたちに生きるチャンスを届けてみませんか?」などと呼びかけました。



2022年2月に武力紛争が激化したウクライナでは今多くの子どもが避難生活を強いられ、2023年に大規模な紛争が勃発したガザでは深刻な食料不足に直面しています。大幅に改善されたとはいえ、世界ではいまだに1年間で490万人もの幼い子どもたちが簡単に予防できる病気により尊い命を失っています。すべての子どもの命が守られ、厳しい状況下に置かれた世界の子どもたちが健やかに成長できるよう、県生協連ではこれからも募金活動を通して支援を継続してまいります。



2025年度上期監査を実施しました

11月19日(水)生活協同組合コープあきた本部において、長山広貴監事、船木祐子監事、工藤聰監事の3名に2025年度上期の事業状況と決算帳票を監査いただきました。

2025年度上期には国際協同組合年のイベントや、ピースアクションinオキナワのマンガ冊子制作など、例年とは違った特徴的な活動がありました。また、最近開催している学習会・生協大会は、暮らしに役立つ身近なテーマを選定し、参加者に好評を得ています。

今後も時代のニーズに即したテーマを選定し、組合員の資質向上に向けた取り組みを継続すること、剩余金の有効な使い道について検討を進めることを確認しました。



山野内会長(左)と阿部常務(右)



監査の様子